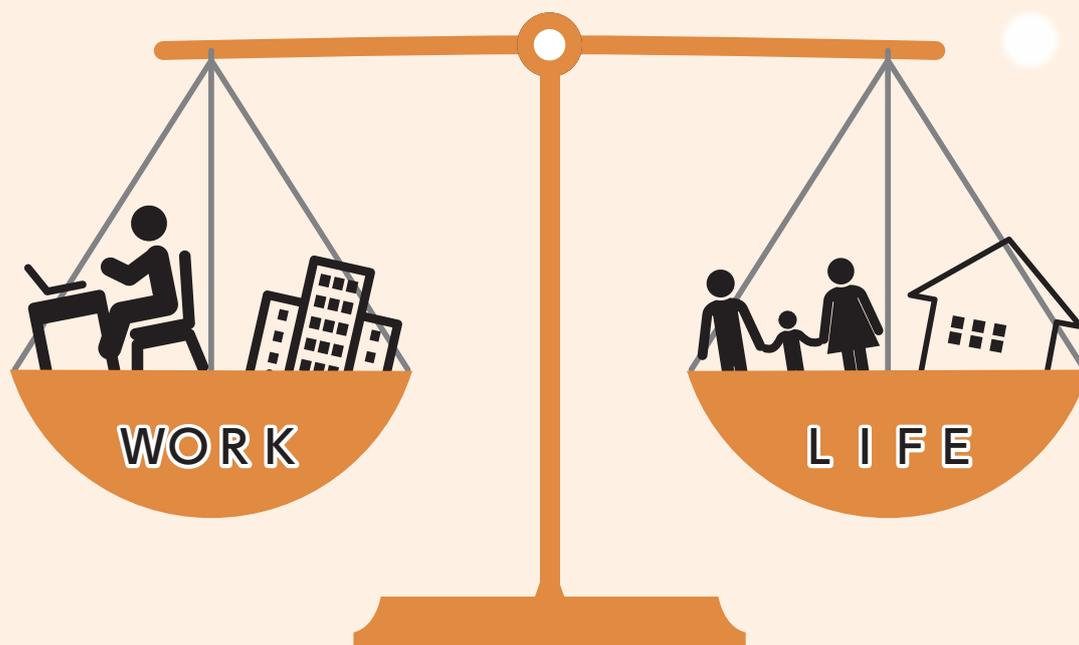


# 男女共同参画社会を目指して



～『そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。』

『ワクワク・ライフ・バランス』～  
(令和2年度『男女共同参画週間』キャッチフレーズ)



日々の生活の中で、「家事は女の仕事」、「泣くのは男らしくない」など、性別によって、『～であるべき』、『～でなければいけない』などと言われたり、聞いたりしたことはありませんか。

人それぞれ、性格やライフスタイルなどはさまざまなのに、身体的な性別だけで行動が決められてしまうのは、おかしいことではないでしょうか。

誰もが幸せに暮らしていくためには、それぞれの個性や特性を尊重し、個人の能力を発揮して、自分らしい生き方を実現できる社会が望めます。

今号では、改めて『男女共同参画社会』について考えてみましょう。

## 男女共同参画社会とは

男女が性別に関わらず、対等なパートナーとして、自らの意志により社会のあらゆる分野に参画することができ、男女が均等にさまざまな利益を享受して、共に責任を担うことができる社会が、『男女共同参画社会』です。

このような社会を実現するためには、性別に関する偏見や差別をなくし、一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮できる環境づくりが大切です。

## 身近に潜む

## 『ジェンダー』問題

『ジェンダー』という言葉を知っていますか。ジェンダーとは、身体的特徴ではなく、**社会的・文化的につくられる性別**のことです。

ジェンダーは、私たちの生活の中に、当たり前のように溶け込んでいて、気付きにくいことがあります。例えば、料理や家事が得意な人を『女子力が高い』と表現することがありますが、女性に限らず、男性でも料理や家事が得意な人はいます。

2015年に、国連サミットで採択された『持続可能な開発目標（SDGs）』